



西幼だより

令和8年4月30日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね！



(西幼稚園 HP)

「安心感」という名の土壌で

園長 渡邊 舞

新学期がスタートしてもうすぐ1か月が経ちます。初めてのことや、新しい担任、新しい友達との出会いなど、新学期は、入園したばかりのお友達だけでなく、進級したお友達にとっても、一度立ち止まり、一步一步ゆっくりと歩み始めたところです。そうしながらも、子どもたちは、様々な人、もの、ことに早速、興味、関心をもち、自ら関わろうとする姿が見られます。新しい環境への戸惑い以上に、少しずつ「おもしろそう」「やってみたい」という気持ちが膨らんでいる姿は、とても頼もしいです。この「やってみたい」はどこからくるのか、と考えてみました。心が安定している状態、つまり「安心感」が土台になっているのだと思います。この先生のそばにいと安心、このお友達と一緒にいと楽しくて心地いい、幼稚園は楽しい場所…そんな思いを抱きながら、一人一人の興味、関心が「やってみたい」という姿につながっていくと考えています。



先週くらいから、「あのお友達は何をしているんだろう」とお友達の近くに行くとじっと見る、目が合った瞬間に微笑み合う、お友達のしていることをそばで同じようにやってみるなど、言葉を交わさないもののコミュニケーションへの小さな芽が膨らみ始めています。「おもしろそうだな」と感じながら、人、もの、ことへと心が確実に動き出していることがわかります。先日、年長組のお友達が作った段ボールのお家に、「おもしろそう」「入りたい」と感じた年中さんがそこに入りたいたと見ていました。ついに、自ら入ってみようとしたのですが、少し高さのある段ボールをまたげずにいました。すると、その様子に気付いた年長さんが、年中さんが入りやすいように入り口の扉を作り始めたのです。私たちはその様子を微笑ましく思いながら見守っていました。そして、担任は「〇〇さんが扉を作ってくれたね。よかったね。」とそっと声を掛けました。年長さんにも「年中さん、喜んでいるね。ありがとう」と声を掛けると、年長さんもうれしそうにしていました。新たな一歩を踏み出した瞬間でした。心と心が安心感のもとで、ひとときつながって、お互いに優しい気持ちになったようでした。

今年度、西幼稚園では、「人、もの、ことに主体的にかかわり【もっと〇〇したい】」という思いを広げ遊び込む子どもの育成」を重点目標にし、子どもたちを育てていきます。「やってみたい」が保障される安心感、「もっとやってみたい」を支えてもらう安心感、大切にされていることを実感しみんなで過ごす心地よさを感じる安心感というふうに、安定した安心感という名の土壌で、一人一人がいきいきと枝葉をのばしてほしいと切に願っています。そして、私たちの育てたい「探究心」「思考力」「自他尊重の意識」(※教育ビジョンより)という芽をどんどん芽吹かせながら、一人一人がその子らしく成長していくために、私たちは栄養たっぷりの土壌となって、13人の成長を大切に支えていきます。



今日も、小さな芽が一つ、また一つと芽吹き始めています。

